

地域・女性・歴史＝語り

——来るべき地域女性史に向けて

地域女性史は、

1980年代から90年代にかけて日本各地で活発に展開された学問であり、社会的実践である。

2000年代以降はかつてほどの盛り上がりを見せていないが、ジェンダー化された生活者の視点から既存の歴史を書き換えるという地域女性史の営みは、「女性活躍」や「地域創生」といった言葉が喧伝される現在、改めて地道に取り組まれるべきものだろう。

このイベントでは、女性史の専門家だけでなく地域女性史の実践者の方々もお呼びすることで、これからの地域女性史を考えるきっかけを作りたい。

登壇者：

折井美耶子（女性史研究者）

梁裕河（むさしの市女性史の会）

青井のな、大石温恵（江東の女性史研究会）

言語：日本語（通訳なし）

コーディネーター：羽生有希

日時：12月15日（日）13:00～17:00

場所：国際基督教大学ダイアログハウス
2階 国際会議室

無料、予約不要

・お問い合わせ先：ジェンダー研究センター
181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2
国際基督教大学 教育研究棟（ERB-1）301
☎0422-33-3448 開室時間 12:00～16:00（平日）

・アクセス
JR 中央線武蔵境駅南口から
小田急バス「国際基督教大学」行
終点下車（乗車時間約12分）
JR 中央線三鷹駅南口から
小田急バス「国際基督教大学」行
終点下車（乗車時間約20分）

